

放課後等デイサービス自己評価表 (30年どろんこクラブ)

	チェック項目	どちらともいえない		改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	いいえ		
	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	・プレイルームが狭い	4月の事業所移転によって、プレイルームが広がる予定です。
	② 職員の配置数は適切であるか	○		・職員間で連携を取り合うことで利用者数が多い時でも対処している。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○	・車椅子の利用者、車いすの利用者さんが来た場合、気持ちよく利用できないと思います。 ・バリアフリーにはなっていませんが、現段階では特に問題はありませぬ。	4月の事業所移転によって、バリアフリー環境へ対応する予定です。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○	・朝礼等で職員みんなで日々の振り返りを行っている。 ・議事録を付けて参加してない職員へも周知してアンケート集計結果を確認し、保護者様からの意向について把握に努めている。	今後は、目標と担当者を明確にして業務改善が行っていきけるようにしていきます。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページでの閲覧ができるようにしている。	ホームページで評価の結果をお知らせしています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部評価を行えるような社外との関係作りを行っていくようにします。
適切な支援の提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・研修の機会は、外・内部共に多くあり、技術向上につながっていると思います。 ・新人研修や、現場研修・研究会などで感覚統合や支援に関する勉強会が多く開催されている。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		標準化されたアセスメントツールの導入を検討していくことになりました。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・職員間で話し合う機会を大切にしていこう意識しています。 ・土曜日活動などは、担当が目的を作り、みんなどうやって実践するかを考えています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		楽しかった活動は更にパワーアップして行い、子どもたちが楽しめるように、新しいものを積極的に取り入れる工夫をしています。	・ときには子どもたちの意見で遊びを行ったり、スタッフで協力してアイデアを出しあっています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		対人・運動・集団など少なくとも3つのカテゴリに分けて目標設定をしています。	
	⑮ 支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・朝礼・昼礼と職員が打合せをする時間を設けています。 ・昼礼でその日の支援内容や役割について話し合い	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・当日の出来事を共有したり、情報共有をすぐに行っています。 ・次の日の朝礼で、振り返りを行っています。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		その日の支援について振り返りや日誌への記録をしており、活動の改善に繋がっています。	支援の検証、改善につながるように今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
関係機関や保護者との連携	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○	・6ヶ月に一度、中間評価と目標の見直しを実施しております。	子どもの状況や支援の状況に合わせた見直し期間の設定を今後は柔軟に行っていきけるようにしていきます。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		・組み合わせた支援を行っています。	
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	・所長が中心に参加を行っています。	会議に所長や担当者が参加し情報を共有しています。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		・学校との連絡は、密にするように意識できていると思います。 ・校門で担任の先生と情報共有を行っています。	
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		・活動の前に両親から配慮する点について、確認をしています。 ・現在、医療的ケアを必要とする利用者はいません。	
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		小学生から中学に上がる際に、事業所間での引き継ぎを行っています。	
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		障害福祉サービスを新たに利用する児童や併用する利用者の支援内容をその事業所の支援者へ共有を行っています。	高校生向けの放課後等デイサービス事業所へ支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	○		近くの児童発達支援センターが行っている研修への参加や相談を行っています。	
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		地域の高齢者との関わりやお祭りやスポーツ大会を通じた活動での関わりを今後も継続して増やしていきたいと思っています。
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		今後は地域部会を通じて防災訓練や学習会に参加できるようにしていきたい。
㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時、その日の子どもの様子や出来事を伝えて相談を行っています。		
㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	保護者へ向けて療育の研修を開催を行ったりしています。		
㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		お渡しする際に保護者に説明し署名を頂いています。	契約時に重要事項説明書や契約書にて説明をしています	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③① 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者から寄せられたことに対しては、職員間で話し合い返答しています。	今後は、進路ついてや就労先に関しての情報収集を積極的に行っていきたいと思います。
	③② 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親子行事や茶話会を通し、保護者同士の話ができる機会を作っています。	
	③③ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・その時々で迅速な対処をするよう意識しています。 ・苦情に関してどうしたらいいか周知をもっとしたおたより発行により、活動概要などを発信しています。	苦情についての情報共有のあり方について、マニュアル等を整備して、スタッフ一人ひとりに周知できるように努めてまいります。
	③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	○				個人情報取り扱いについて保護者に同意を得た上で掲載などを行っています。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通情報伝達のための配慮をしているか	○			言葉以外の絵カードや文字盤などのコミュニケーションを使用しています。	
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域の行事に参加することがあります。	移転してからは、積極的に地域の方々との交流を深められる催しを考えております。
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		・委員会から全職員に周知するよう心がけています。 ・周知されていないのでしてほしいです。	マニュアルが古くなってしまっていることもあるので、再整備を進めております。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・委員会が中心となり年に数回訓練が行われています。 ・定期的に子ども達と非難訓練を行っています。	
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			2年に1回くらいは行われています	虐待防止委員会の発足に伴い、年一回の研修を行うことになりました。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○			今後やむおえない場合が出てきた場合は保護者と相談しながら支援計画に記載しスタッフ間で支援の方向性を共有していきます。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者から伝えられた情報は職員間で共有しています。	
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		・日々、ヒヤリハットな事例があれば共有しています。 ・事例を集めても事業所内で共有されていないので共有してほしいです。	法人内で起こったヒヤリハットの事例をスタッフ間で共有にするようにしていきます。